

琉球大学学術リポジトリ

資料等

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学大学グローバル教育支援機構 公開日: 2018-07-11 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/41050

編集後記

西本裕輝（グローバル教育支援機構・授業支援部門長）

2012年度に導入した URGCC であったが、2015年度が終了し、導入後初めての卒業生が巣立って行った。つまり 2015年度は真価の問われる年度であり、その成果をまとめたのが本報である。

4年間の成果としてはまず、学生の追跡調査結果報告として「URGCC 学生調査 2015 調査報告（概況）－URGCC 学習教育目標得点率の4年間の変化－」を記した。1年次が4年間に渡って、特に URGCC の7つの目標について、どのように伸びていったのか、統計学的分析によって具体的な数値によりエビデンスを示すことができた。

また、「URGCC 教員調査 2015 調査報告（概況）」では、同様の学生の成長を教員の評価によって統計学的に把握したものである。

いずれの調査においても、学生が順調に伸びている様子をうかがうことができた。本結果は各学部・学科・プログラムにもフィードバックしているので、今後の教育改善に大いに役立てていただきたい。

本センター報を通して、URGCC の推進がますます促進されることを期待するものである。